

福島市小鳥の森通信

しじゅうから

小鳥の森で観察してみよう 150

シロハラ

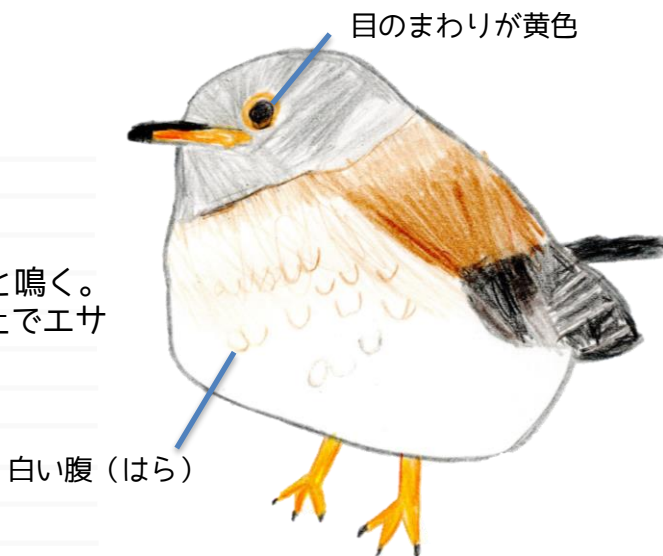
分類 スズメ目 ヒタキ科

大きさ：24～25cm

特徴：「ツイーツ、キョキョキョ」と鳴く。
平地～山地のうす暗い林の地上でエサを探す

小鳥の森で見られる時期
・12月～3月

小鳥の森で見られる場所
・茂みの中や暗い場所



ふなやま りおな さん（8才）が描いてくれました。

12月 いきもの森予報



鳥たち、一致団結（いっちだんけつ）

木々が葉を落として遠くまで見られるようになった冬の森。鳥の動きが見やすくなります。そのおかげで良く見かけるようになるのが混群（こんぐん）です。混群とは、種類の違う鳥たちが一緒に行動する群れのこと。小鳥の森ではエナガ、コゲラ、シジュウカラ、ヤマガラなどが混ざります。じつは混群を作ると良いことがたくさんあるのです。そのいくつかをご紹介します。

1つ目は「敵（てき）から身を守ること」。一羽よりも、たくさんの鳥の方が敵を見つける目が多くなります。誰かが危険（きけん）に気づけば、群れ全体で逃げることができます。

2つ目は「エサを見つけること」。たしかにみんなで探した方が見つけやすくなりますね。きびしい冬を生きぬくための野生の知恵（ちえ）です。

この時期だけ観察できるお楽しみ。散策しながら出会えると良いですね。



キッコウハグマ

小さな冬のおとずれ

寒さが目立った11月。最低気温が-0.3℃まで冷え込んだ日もありました。そんな小鳥の森では冬の植物や野鳥が観察できました。

白く小さな花を咲かせるキッコウハグマ。花の直径は1cmほどで、花弁の先がクルリとカーブしています。

アスファルトの野道路沿いに身をひそめて咲いていました。

冬鳥のジョウビタキの姿も。小鳥の森には冬を過ごすために北の方から渡ってきます。「ヒツヒツ、カカツ」と火打ち石（火を起こすために火花を起す石）をたたいて火を焚く（たく）ような鳴き声。ビタキ（ヒタキが濁った言い方）の名前は、この鳴き声から付きました。オレンジ色のお腹と黒い顔、白い頭の美しいオスが観察できました。尾羽をふるわしておどかすポーズも。鳥たちの間では怒り（いかり）が伝わるのですが、人から見れば可愛らしい姿にしか見えないのが面白いですね。

この時期ならではの生き物たちに今年も会うことができました。



ジョウビタキ

自然のお便り

鳥の名前クイズ

今回は小鳥の森で見られる鳥たちの名前当てクイズです。

①は一年中見られる鳥。北海道にいる小さくてまっしろな鳥のなかまです。

②は冬鳥。小鳥の森では冬の間、広い場所の地面でエサを探す姿が見られます。目の上の白いまゆげ模様（もよう）がステキです。



①



②

※答えは表面の右下に書いています。

年末・年始のご利用について

年末年始のお知らせ

2024年も残りあとわずかとなりました。今年もたくさんの福島市民の方々、また県内外の方々にもたくさん足をお運びいただきました。小鳥の森はにぎやかな一年を送ることができました。改めてお礼申し上げます。

小鳥の森は2024年12月29日（日）～2025年1月3日（金）が年末年始の休館となります。シジュウカラの小径をはじめとする観察路などは通常通りご利用いただけますが、野外トイレなどはございませんのでご注意ください。

2025年も引き続き小鳥の森をご利用いただけますようスタッフ一同お待ちしております。

皆さま良いお年をお迎えください。

*小鳥の森通信「しじゅうから」はホームページでカラー版をご覧になれます。

*園内の環境放射線量の詳細はホームページをご覧ください。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時

《入場無料》休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel：024-531-8411 fax：024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2024年12月号№461 / 企画・発行：福島市小鳥の森 / NPO法人野鳥の会ふくしま



小鳥の森HP